

# 自治会 あつぎ 第68号

## 目 標

- ◎みんなの手で育てようあすの自治会を
- ◎地域づくりは市民の民主的・自発的活動から
- ◎行政と協働で築く豊かな地域社会

平成27年10月1日発行

発行 厚木市自治会連絡協議会  
 編集 厚木市自治会連絡協議会広報部会  
 電話046(225)2101

ネットは

## 人と人とのふれあいのある まちづくりを目指して

厚木市自治会連絡協議会  
 会長 前場 政行



厚木市自治会連絡協議会 前場会長

去る5月28日に、厚木市自治会連絡協議会の総会にて、会長に仰せつかりました、前場でございます。

平成27・28年度の会長を務めさせていただきます。日頃から自治会活動に特段の御理解御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

前任であられます、小瀬村前会長が会の発展に大きな貢献をされた後であり、改めて責任の重さを実感しているところでございます。厚木市自治会連絡協議会といたしましては、理事32人、218人の自治会長と協力し合い、自治会活動の発展に尽力いたしますので、よろしくお願いいたします。

## 行政と協働のまちづくりを

さて、自治会の活動で大切なことは、地域福祉の増進であり、住民の総意を反映させた、公正な自治会活動を進めていくことです。自治会では、防災・防犯・地域福祉・交通安全・環境美化活動などを通じて、地域の課題解決に努め、安心安全なまちづくり、明るく住みよい地域づくりを目指して、行政と協働で活動してまいります。

厚木市制60周年を迎え、この間、厚木市は大きく発展しました。これも先人の努力のおかげと感謝すると共に、この環境や平和な社会を子や孫に、引き継いでいく責任があります。

また、厚木市では、厚木市制60周年記念日である平成27年2月1日に、「あつぎ市民ふれあい都市」を宣言しました。宣言文には行動指針の3つの柱として、ふれあいの家庭づくり、ふれあいの地域づくり、

ふれあいのまちづくりを定めています。

## ふれあいの地域づくりを

平素から人と人とのつながりづくり、ふれあいが深まる環境づくりは、自治会活動が目指す原点であると思います。人と人とのつながりが希薄になっていられると、今日の、身近な地域の御近所同士のつながりの場を創出するために、自治会では、お祭りや地域での花壇づくりなど、様々な取り組みを行っております。そのためにも、自治会未加入世帯への加入促進にも、努力をしていく必要があります。皆様の御理解と御協力をお願いいたします。

最後に各自治会の発展と自治会員の皆様の御健康と御多幸を御祈念申し上げます。

### 厚木市自治会連絡協議会 (15地区・218自治会)

厚木北地区 (11)	小 鮎地区 (29)
厚木南地区 (12)	南毛利地区 (35)
依知北地区 (13)	南毛利南地区 (11)
依知南地区 (8)	玉 川地区 (15)
睦合北地区 (7)	森の里地区 (5)
睦合南地区 (12)	相 川地区 (15)
睦合西地区 (8)	緑ヶ丘地区 (7)
荻 野地区 (30)	

## 平成27年度役員紹介

会 長	前場 政行 (玉川)
副会長	山村 勝美 (睦合南)
会 計	神保 忠男 (森の里)
大 務	大澤 雄次 (睦合北)
二 務	渡邊 征一 (南毛利南)
三 務	棗 進 (厚木北)
四 務	三田 哲夫 (厚木南)
五 務	加藤 和正 (依知北)
六 務	渡邊 勝三 (依知南)
七 務	池永 和夫 (睦合西)
八 務	毛利 昇 (荻野)
九 務	山田 充 (小鮎)
十 務	前田 満 (南毛利)
十一 務	菊池 美明 (相川)
十二 務	佐々木安雄 (緑ヶ丘)
十三 務	陣内 忠彦 (厚木北)
十四 務	足立原 将 (厚木南)
十五 務	堀口恵太郎 (依知北)
十六 務	倉田 光政 (依知南)
十七 務	山口 末夫 (睦合北)
十八 務	石井 勝巳 (睦合南)
十九 務	栗原 富栄 (睦合西)
二十 務	高橋 修一 (荻野)
二十一 務	横岩 康平 (荻野)
二十二 務	松本 享一 (小鮎)
二十三 務	山口 泉 (南毛利)
二十四 務	前田 征治 (南毛利)
二十五 務	高澤 浩通 (南毛利南)
二十六 務	高橋 正一 (玉川)
二十七 務	永嶋 信一 (森の里)
二十八 務	大貫 太郎 (相川)
二十九 務	笹山恵一郎 (緑ヶ丘)



### ずっと住みたいくなる 街をめざして！

厚木南地区  
旭町2丁目自治会  
会長 富田 幸紀

厚木南地区は、厚木市社会福祉協議会のアンケートで「市民が最も住みたい地区」のトップに選ばれました。この結果は、LEDによる防犯灯の照度アップ、防犯カメラの設置、道路里親制度による花壇の「整美」、地域や自治会単位による巡回パトロール、安心安全なまち会議の充実、児童の登下校時の見守り、厚木第二小学校五十周年記念事業の全面的な支援等、目に見える場所、見えない所での真摯な取り組みや特に行政・地域住民・商店会・学校等多くの皆様の連携による協働の成果だと考えています。

厚木南地区自治会では、こ



企業と地域住民による花壇の整美

れからもずっと住みたいくなる街を目指して次のことを重点的に取り組んでいきます。

①厚木南地区ふれあい都市宣言での「一みんながあいさつを交わし絆を深め」のあいさつ運動を推進し、心の交流を図っていきます。

②児童・生徒の登下校時に大事故・大事件・大災害が発生した場合、学校・公民館・地域自治会・老人クラブ・民生委員・交通安全母の会等、日頃から児童・生徒の安全に携わっている団体と連携を図り、自分の町内の危険箇所や交差点での児童・生徒を見守る活動を続けていきます。「自分の町内の人々の命は、自分たちの力で」という心を培っていきます。

### 出雲いとふれあいの 夏まつり

依知北地区  
下川入第三自治会  
会長 小宮 誠一

依知北地区下川入第三自治会は概ね中津川と国道129号線の間に位置する自治会です。

下川入第三自治会主催の主な行事は夏まつり、諏訪神社例祭子供みこし、餅つき大会、



夏まつりの様子

どんど焼等があります。夏まつりは自治会最大の行事で本年も班長をはじめ、体育振興委員、青少年健全育成会、陸み会（踊りの会）、その他ボランティアの皆さんに実行委員として活動していただき、盛大に開催することができました。

昼の部はゲームコーナーで子供達が輪なげ、ストラックアウト等のゲームを楽しみ、夕方になって踊りの会の先導で大きな踊りの輪ができ、楽しく踊ることができました。模擬店ではジュニアリーダーの手伝い、青少年健全育成会の子供コーナーでは依知小学校の子供達の手伝いで大人達の顔も和むのが印象的でした。

振り込め詐欺被害がなかなか終息しない中、実行委員の意見で夏まつり会場入口に大看板で注意を呼び掛けたのも今回の特色のひとつになりました。

夏まつりは出合いの場となり親睦を深めるために有意義であったと思っております。当自治会も年々会員数が減少し班の統廃合をせざるを得ない状況にあります。自治会活動を通じて、いつまでも会員相互がつながりを持てる、明るいまちにしていきたいと思っております。

### 安心・安全の 木売場地区を目指して

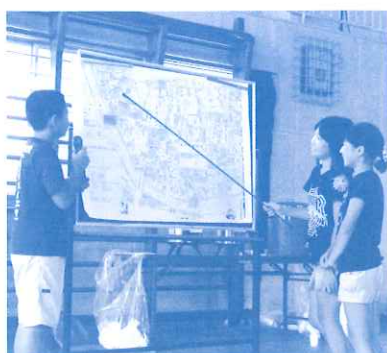
睦合南地区  
木売場自治会  
会長 藤井 菊茂

木売場自治会は、約490世帯で構成されており、班(組)の数は約40組です。自治会として取り組んでいる行事等は、他の自治会とほとんど同様ですが、この中で特長的な行事としては、昨年9月の防災訓練です。例年どおりの訓練ではなく、前回の作成から5年経った「防災・防犯マップ」の見直しを実施しました。木売場地区も最近是不

審者の出沒、ひったくり、空き巣等いろいろな事件が起き、なかなか気の休まる時がないほどです。

防災のためのマップづくりだけで終わらせず、子どもたちが通学路を安心・安全に通学できることも目的に、自治会員や子ども会に、あらかじめ防犯の視点でもマップを作成することを周知しました。

防災訓練当日までに日頃の通学路や危険箇所、暗い所などを調べてもらい、訓練当日は妻田小体育館に集合し、地区を6ブロックに分け情報交換、意見交換を行いました。最後はブロックごとに発表し、後日役員と防災担当等で1枚の地図(A0カラー版)にまとめ、自治会館に掲示するとともに妻田小学校にも提供し、A3カラー版の地図を小学校と各世帯に配付し、活用してもらっています。



小学生による発表風景



### 笑和会の活動について

荻野地区

とびお24街区自治会

会長 梶田 晏弘

私たち「とびお24街区自治会」は、鳶尾団地バス停の南側に位置し、マンション10棟、250世帯の自治会です。平成27年4月現在で、自治会加入率は88%です。最近の傾向として、住民の高齢化が進んでおり、一人住まい、あるいは夫婦二人だけという世帯が増えております。

このような中で、自治会内で独自の活動をしているグループがあります。「笑和会」と呼称し、馬場会長のもとに、カラオケやターゲットボード・ゴルフなどの活動を通じて、親睦を図っております。老人会のように思われておりますが、決してそうではなく、会員の年齢制限などもなく若い方



日帰りバス旅行での一コマ

も加入しており、希望者は誰でも入れるグループです。

年間の定期的な行事のほかに、管理組合の事業への協力や、自治会を支援する活動として、毎年恒例のふれあい納涼祭や、防犯パトロール、公共施設の清掃などにも精力的に参加しております。これらの活動は、自治会の大きな力になっており、また、街区内の安心・安全なまちづくりにおいても、自治会員の心の大きな支えになっております。

### ほたる飛び交う

### 光景に感動して

荻野地区

清源自治会

会長 佐藤 八郎

荻野地区清源自治会は東西に里山を控え、中央に荻野川と国道412号線が背骨を形成しているような地形に位置しています。清源自治会は、清田ヶ谷戸、源氏河原、王子原地区が一緒に

余りです。当地区の60年前といえますと畑作農家が大半でした。晩秋に麦の種蒔きを行い、冬は霜で持ち上げられた麦の根元を踏み固める麦踏み子ども頃手伝った記憶があります。

初夏に収穫した後の麦殻を使って、「ほたる籠」を編んだも



ほたるの里の再生

その後、周辺の開発や農薬の使用等、ほたるにとつて住環境が極端に悪化してしまい、ほたるは姿を見せなくなりました。ところが、昨年6月頃からほたるの里に60年前のように、ほたるが戻ってきてくれました。

下草刈りを自治会で行った後、市に砂利の敷き込み、護岸からの倒竹の伐採と除去をしていただきました。

自治会では、定期的な除草作業を続け、ようやくほたるの里へと足を運べる状態になりました。その結果、「孫や子どもたちが感動していた」、「久しぶりにほたるを観ることができてよかった」等の嬉しい言葉をいただきました。

今後、環境の改善、水質の浄化、環境保全の取組みを進め、

末永く、初夏にほたるの舞が鑑賞できることを願っています。

### みんなで支えあう心を育み、安心して安全な住みよい街に

小鮎地区

古松台自治会

会長 小菅勝四郎

小鮎地区古松台自治会は昭和52年の土地区画整理事業の開発後から発足し、飯山地区の古松台団地及び近隣の所帯で構成され、現在では348世帯の自治会会員と13社の企業賛助会員と会員数にも恵まれ、お陰様で自治会加入率は100%を現在でも維持しています。会員数規模も比較的大きいため、防災、行事、環境、広報、総務、会計などの役員からなる専門部を設け組織的な自治活動に努めています。

小鮎地区健康祭りへの参加や夏祭りなどの行事の他に、美化清掃活動、防犯パトロール活動、防災訓練など多岐に渡り、役員や各種団体、ボランティアと連携した活動に取り組んでいます。

当自治会も少子高齢化の影響は避けられませんが、防犯・防災への対処として、ボランティアで構成する自主防災協力隊を充足させ、積極的に地域の安全を意識した取り組みを行っています。

7月4日に、毎年恒例の「夏祭り」を周辺自治会に先駆けて開催しました。あいにくの雨天ではありましたが、沢山の来場者にお越しいただき、感謝しております。

今年は昨年度のバーベキューから一転、多数の模擬店を出店しました。また、「飯山白龍太鼓」や「歌謡ショー」などの出し物も盛り上がりました。子供会と連携して出店した駄菓子もあり、老若男女が楽しめるお祭りとなりました。お祭りの設営準備や裏方では自主防災隊はじめボランティアさんなどの御協力もあり、スムーズな運営ができましたことに、地域内の絆の強さを感じております。

自治会や近隣地域が住みよい街になるよう、安心で安全なまちづくりをモットーに積極的な共助と地域のコミュニケーションを大事にしていきたいと思っております。



夏祭りの模擬店の様子



### 南会の活動について

小鮎地区  
仲通り・南谷戸自治会  
会長 守屋 晴

南会は、小鮎の上古沢(矢崎市道、野竹沢、仲通り、南谷戸)地区の南端に存在し、緑豊かな山間の景色や小川のせせらぎが聞こえる自然に恵まれた美しい地域を守るために活動しています。

我が南会は、平成18年に発足し、今年で満10年になります。会員の平均年齢は72歳ほどです。

私たちの活動する地域は、森の里地区の北側に位置し、近隣には厚木市の緑地や公園が隣接しており、厚木市の所有する緑地2か所の約2,200平方メートルを初夏の6月、8月、秋の10月の3回に分けて草刈機や剪定バサミ等を使い、



不法投棄されていたゴミ

除草及び不法投棄されたゴミの処理をしております。

夏季期間での苦しい作業を乗り越えることにより、会員相互の輪が生まれ、「つながり」の大切さを感じています。

今年度は、セーフコミュニティ推進地区に指定され、世界保健機関が推奨するセーフコミュニティの充実を図り、子どもと高齢者を交通事故から守る活動を推進するとともに、「犯罪のない社会環境づくり」、「犯罪に強いまちづくり」を目指します。

### 明るく、楽しく、元氣な自治会を目指して

南毛利地区  
温水第一自治会  
会長 井萱 徹

温水の名称は、大昔、一乘尼寺(現在の緑ヶ丘付近にあった)が焼けた時に、その火の玉が飛んできて、専念寺の池に落ち、村人が見に行くと仏像が焼け、池の水が温かくなったという事から地名になったと伝えられています。温水地区は、第一から第三自治会が協力して活動を展開しています。自治会加入件数は526戸で、ほぼ100%近い加入率です。

温水自治会では、春の春日



にぎわう盆踊り

神社祭礼では、前夜はカラオケ大会、当日の午前中は子供会神輿、午後は大人神輿が地域を練り歩きます。夜は神楽殿での余興もあり、特にヌルミズ会出演のコミカルな寸劇は大人気で毎年約400人の来場者で満席です。

夏は恒例の盆踊り大会。早朝からの設営には70名以上の方の協力で猛暑の中でしたが、日頃の連携の良さで、昼前には完成。夜の盆踊りは、19時前から各種団体の模擬店は長蛇の列で大賑わい。やぐらの周りには、太鼓の音頭でJ.A女性部の方々の輪に地域の皆さんも加わり、伝統文化である盆踊りを通して交流の輪が広がります。

秋は敬老会、おじいちゃん、おばあちゃんにも楽しんでいただく、良い企画を今年も思考中です。

冬は健全育成会会の主催による真竹で櫓を組み、どんど焼き、豚汁や焼いただんごを食べ、無病息災を願います。また、年6回の防犯パトロールは、昨年からの青パト車も加わり、毎回50名位の地域ボランティアの方々と徒歩で巡回し、防犯の呼びかけをしています。今後「明るく、楽しく、元氣良く」をモットーに安全、安心な地域づくりを目指して自治会活動を推進していきます。

### コミュニケーションがすべての基

南毛利地区  
みらい文化川本自治会  
会長 佐藤 光夫

みらい文化川本自治会は、

厚木市文化会館を中心とする国道246号線の西側に位置し、厚木市で一番新しい自治会です。昭和29年の航空写真では、一面が田園で、家は一軒もありませんでした。以来61年、今やマンションと戸建が併存し、750世帯を超える人々が生活しています。そして、このような特性から「隣は何をする人ぞ」となり、コミュニケーションの不足が心配されております。

自治会では、積極的に交流

の場として、6月にバーベキュー、7月に納涼祭、8月に親子バス旅行(二年置きにデイズニードとデイズニード)、12月にクリスマス会、1月には餅つきなどを設けております。また、東京農業大学と地域の法人の協力を得て、国道沿いの歩道にお花を植えて、環境美化に努めています。

防犯活動では、街路灯の設置や照度アップを積極的に市に要望し、暗い道をなくす努力をしております。夜間の防犯パトロールでは、二班に分かれて、区域内の全域をパトロールしています。

今後の課題としては、防災面であり、防災に対して高い意識を持ち続けられることを全自治会員と共有できるかが重要だと考えております。



国道沿いの花壇づくり